

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
第1編 序論					
1	1	1 計画策 定の背景	「南海トラフ巨大地震」の表記は正しいですか。内閣府では「南海トラフ地震」を平成27年度頃から使用しています。	ご指摘の通り、内閣府の表記に揃え「南海トラフ地震」に修正します。	修正
2	1	1 計画策 定の背景	「リニア中央新幹線開業による新たな環境変化」とは。新たなとは何を指していますか。「新たな」とあったので以前環境変化があったかのように捉えてしまいます。	名古屋駅周辺においては、現在までにリニア中央新幹線の開業を見越した超高層ビルの建築などにより、都市機能が強化され、新たな雇用の創出が始まっています。そのため、「新たな」とは、実際にリニア中央新幹線が開業した後に見込まれる、経済の活性化や、首都圏と名古屋大都市圏とが一体となった新たな都市環境が生まれる変化のことを指しています。	その他
3	2	1 位置と 地勢	「北部は一宮市、小牧市及び岩倉市」ではないですか。（県内市町村コード順）	ご指摘の通り、「北部は一宮市、小牧市及び岩倉市」に修正します。	修正
4	3	1 大都市 に隣接する 交通利便性 の高いまち	名古屋市都心部から約10kmの距離とは、どこからどこを指しますか。西春駅から名古屋駅まで約8kmです。	名古屋市都心部は中村区（名古屋駅）や中区栄周辺を指しており、市域全体が名古屋市都心部から約10kmにあるということを表記しています。	参考
5	3	1 大都市 に隣接する 交通利便性 の高いまち	名鉄西春駅は略称なので、計画書では正式名称で表記した方が良いと思います。	ご指摘の通り、「名古屋鉄道西春駅」に修正します。	修正
6	3	2 多様な 産業で支え るまち	なぜ、工業統計調査結果だけ定性的コメントとしたのですか。調査結果を基にするなら定量的なコメントにすべきでは。	ご指摘の通り、数値を入れた文言に修正します。	修正

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
7	3	3 生活利便性の高いうるおいのあるまち	<p>県道や整備済都市計画道路以外の歩道整備率からしても、子育て世代や高齢者が徒歩や自転車の移動が容易とは言い難いのでは。平坦なだけで歩道整備は遅れていると思います。</p>	<p>第2次北名古屋市総合計画策定に向けて実施した市民ワークショップにて、市民の方から出された意見も参考にしており、山間部の都市などと比べ、地形的に移動しやすいという意味です。</p> <p>なお、ご指摘にありました、歩道整備は施策（4-1道路基盤）において、課題として捉えています。</p>	参考
8	3	3 生活利便性の高いうるおいのあるまち	<p>市街化調整区域の田園や親水空間を魅力的と言っているのですか。市街地に市民の憩いの場なる公園や緑も整備していないのに、調整区域の田園を引き合いにだして大都市近郊の住宅都市として魅力があると表記するのはずるいです。</p>	<p>本市は、農地が市域の約2割を占め、また、四方を河川に囲まれ、市内を多くの河川が流れています。このような、大都市近郊にありながら豊かな緑とうるおいのある環境を市の貴重な財産として、魅力の一つと認識しております。また、第2次北名古屋市総合計画策定に向けて実施した市民ワークショップにおいて市民の方から出された、田園をまちの魅力の一つと考えているという意見も参考にしております。</p> <p>なお、都市公園の市民一人当たりの面積が少ない状況であることは施策（4-3公園・緑地・緑化・景観）において課題として挙げておりますが、空間の利用密度や景観面から、市域に農地が保全されていることをプラス面として打ち出すべきと考えており、特性として捉えています。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
9	4	1 住み心地や今後の居住について	「(2) 居住意向」について、転出意向が約25%もいるのに、このまましばらくは人口増（または人口維持）を進める根拠が知りたいです。	<p>前回の総合計画策定時に実施した市民意識調査において、転出意向は28.5%となっていました。この要因として、本市が大都市周辺のベッドタウンという一面をもっており、転勤などによる転出入が多い土地柄となっていることが挙げられます。前回の総合計画では、2008年の81,000人から増加し続けると予測し、2017年の人口を85,000人と推計いたしました。</p> <p>最新の人口動向を踏まえたコーホート要因法による推計（国立社会保障・人口問題研究所）によっても、北名古屋市の人口は2020年まで増加し、その後緩やかに減少に転じると予測されています。しかしながら、第2次総合計画においては、将来の人口減少に備えたまちづくりという視点が重要であると認識し、計画内容を検討しています。</p>	その他
10	5	1 住み心地や今後の居住について	「(3) 北名古屋市の良い点や魅力」について、マルチアンサーですが、回答18%の農地や14%の子育てを「評価をいただいている」と表現するのは、感覚的にずれているのでは。高いとした基準は。	<p>交通と買い物の利便性についての上位3項目については、本市の特徴として評価されており、非常に高い回答割合となっています。ご指摘の農地や子育て環境については、上位3項目に次いで回答割合が高いことから、評価されていると捉えたものです。</p>	その他

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
11	7	2 北名古屋市の現状の評価について	<p>SWOT分析で重要度が高く、満足度が低い「防災・防犯・交通」以外にも北名古屋市特有の問題である、同じカテゴリーに入っている公園・緑地もコメントとして載せるべきではないですか。県内市町村の1人当たりの緑地整備率がワーストレベルであることを課題として挙げられないのは市の認識として恥ずべきことです。これでよく住宅都市の魅力を先のページで語れたものだなと思います。</p>	<p>重要度が高く、満足度が低い項目の中で、それぞれの位置が著しいものとして「防災・防犯と交通安全にかかわる項目が多くなっている」と示しています。</p> <p>公園整備については、土地区画整理事業の導入が困難であることなどにより、市民一人当たりの都市公園の面積が少なくなっているため、施策（4-3公園・緑地・緑化・景観）において、課題として捉え、主要施策として掲げています。</p> <p>なお、市民意識調査では、重要度と満足度が高い項目の中で、「ゆとりある住環境」があり、本市の特性として、保全されてきた農地という緑も、市民にうるおいをもたらす空間資源として貴重なものであると評価しております。</p>	参考
12	11	2 災害や環境問題への懸念と求められる対策	<p>災害や環境問題の懸念や求められる対策 東日本大震災だけでなく、熊本地震は載せないのですか。</p>	<p>社会動向として、わが国全体に甚大な被害をもたらした災害の一例として「東日本大震災を始め」という記載をしております。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
13	12	3 リニア インパクト への期待と その活用	<p>タイトルには期待と活用とあるものの、文章中には期待と懸念に対するコメントしか記載されていません。具体的な活用とは何か、表現すべきです。また、本項目は、広域連携を重要視しているのか、都市間競争に打ち勝つことが重要なのか、相反するような項目を並列で挙げており一見して理解しにくいです。どちらに進めたいのか明確にすべきと思います。文章説明と計画に求められる視点とがうまく結ばれない。合併も視野に入れているならここは丁寧に記述すべきでは。</p>	<p>第2次北名古屋市総合計画策定と同時期に実施した、リニアインパクトに係る有識者ヒアリング結果を参考にしています。リニアインパクトを発展につなげるためには、名古屋市を中心とした広域連携は必要であり、それを念頭に置きながら、都市間競争（地域間競争）に勝つための戦略として、産業や住宅を引き込むための取組を活発化させることが必要であると考えております。</p>	参考
14	13	4 変動が 大きな経済 情勢	<p>「計画に求められる視点について」、企業誘致及び企業育ては、市としても重要項目ではありませんか。その割には計画に求められる視点が貧弱に感じる。地域内消費、技術革新、雇用の創出を視点に入れて肉付けすべきでは。</p>	<p>社会動向としての「変動が大きな経済情勢」を踏まえ、計画に求められる視点として、「地域の持続的発展に必要な産業の活性化」に向けて市が実施できる企業誘致や企業支援に関する取組を記載しております。このような取組を進めることにより、企業による技術革新や雇用創出などを図りたいと考えています。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
第3編 基本計画 総論					
15	20	土地利用方針	<p>人口の自然増、社会増は北名古屋市に必要ですか。合併してから10年が経って、合併当時から相当人口が増えました。合併によって固定資産税が高くなって、農地が減り、反動でいわずらに民間開発により人口が増えただけだと認識しています。暮らしやすく魅力的なまちを進めるのなら、市にとって適正な人口水準、年齢構成について検討すべきではないでしょうか。リニアに向けた備えと書いてありますが、例えば人口が10万に増えることが、市にとってよいこととは思えません。市が何ら誘導もせず、無計画に農地が減ることによって人口が増えるだけならば、住みにくいだけです。質の高い魅力的なまちにはならないのではないのでしょうか。人口を増やすことありきで進めることに疑問です。</p>	<p>本市の将来人口は、2020年をピークに、その後、緩やかに減少していくことが予測されています。今後、後期高齢者である75歳以上の人口が増えることが予測されており、このような背景を踏まえ、単なる量的な人口増加をめざすのではなく、年齢構成のバランスを取っていく必要があるため、人口の自然増、社会増を求めることにより、今後の大きな社会状況の変化にも対応できるよう、おおむね20年後を見据えた土地利用方針としております。</p>	参考
16	20	土地利用方針	<p>リニアインパクトに向けた備えとは。なぜ備えが必要か、論述が不十分で必要性が感じられません。ここは前提条件なので、備えの必要性は面倒くささらずにきちんと記述すべきと思います。</p>	<p>リニアインパクトを発展につなげるための備えとして、名古屋市を中心とした広域連携は必要であり、それを念頭に置きながら、都市間競争（地域間競争）に勝つための戦略として、産業や住宅を引き込むための取組を活発化させることが必要であると考えております。</p> <p>なお、「第5章 社会動向 3 リニアインパクトへの期待とその活用」において、同様の趣旨を記述しております。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
17	20	土地利用方針	<p>「1 暮らしやすく魅力ある土地利用」について、鉄道の高架化の周辺のまちづくりについてですが、9ページのアンケート結果を基にすると、ここは高架化ではなく、駅の再開発が重要ではないのですか。施策ありきではないか。高架化が必要な理由を明記すべきです。</p>	<p>「第2次北名古屋市総合計画に関する市民意識調査結果」から、「駅周辺を再開発し、都市の拠点性を高める」ことが、将来のまちの活性化のために重要だと考えられており、鉄道駅や市役所を中心に都市機能を集約し、コンパクトで暮らしやすい土地利用を進めることで都市の拠点性を高めることとしています。また、これまでのまちづくりの成果を継承し、時代に合った、より一体感のある魅力あるまちづくりに向けて、鉄道の高架化を推進してまいります。</p>	参考
18	20	土地利用方針	<p>「2 安全・安心なまちを支える土地利用」について、幾度も被害を受けている→平成12年9月東海豪雨をはじめ、を追記した方が理解しやすいです。 ・併せて必要な対策→どんな対策か具体的に ・そうした地区における→どんな地区か具体的に 文章にここまで具体性がないと市民には刺さらないと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、修正します。</p>	修正
19	20	土地利用方針	<p>「4 都市と農地が共存する土地利用」について、農地の多様な機能とは何ですか。農地の保全、雨水の遊水機能のことですか。それとも農地の土地利用転換のことですか。多様な機能について定義し、どのような土地利用方針なのか明記すべきだと思います。</p>	<p>農地の多様な機能とは、雨水の一時的な貯留、自然環境の保全、良好な景観の形成などのことで、私たちの生活に大きな恵みをもたらしております。 一方で、企業誘致などによる都市的土地利用への転換など、将来的な大きな社会状況の変化に適切に対応するために、農地の地域バランスを考慮しながら、都市と農地が共存する土地利用を図ってまいります。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
20	21	分野別まち づくり方針	<p>「(2) 教育・文化分野」について、なぜ、少子化になると豊かな人間性・社会性を持ち、国際社会を生き抜く人材が求められるのですか。このことは少子化に限ったことではないのですか。高度経済成長期から豊かな人間性・社会性を持ち、国際社会を生き抜く人材は求められていたのではないのですか。</p>	<p>ご指摘のとおり、「豊かな人間性・社会性を持ち、国際社会を生き抜く人材」は、高度経済成長期の時代から求められていますが、「少子化」という社会問題は、グローバル化やIT技術の進展にともない、国力の維持や国際競争力の強化という観点においても、重要性が増しており、喫緊の課題と捉える必要があることから、このような表現としております。</p> <p>しかし、該当の文面において、少子化に限ったことのように読み取ることができするため、「少子化を背景とし、」の部分削除させていただきます。</p>	修正
21	22	分野別まち づくり方針	<p>(6) 協働・行財政分野 文中にあるように、職員のさらなる意識改革や、効率的で質の高い行政サービスの提供は是非取り組んでほしい。期待しています。さらなる意識改革→更なる意識改革に。漢字表記かひらがな表記か、統一してほしい。</p>	<p>ご意見にありますように、効率的で質の高い行政サービスの提供に努めます。</p> <p>表記の統一のご指摘については、これまでの取組を拡充する意味で使う場合には「漢字表記」とし、接続詞の意味で使う場合には「ひらがな表記」に統一します。</p>	修正
22	22	分野別まち づくり方針	<p>(6) 協働・行財政分野</p> <p>「更に、広域行政を進め…」とありますが、北名古屋市はこれまでも広域行政を進めていたのですか。合併は市民にも大きく関係することなので、2行で終わらせず、合併について、丁寧に方針を示してほしい。</p>	<p>この部分の「更に、広域行政を進め…」という記載は、前段の方針に加えてという意味であり、今まで行っていることについて、広域行政を進めるという意味ではありません。なお、「更に」の表記を、ひらがなに修正します。</p> <p>なお、この章は、まちづくりの方針の分野別目標を示す箇所であるため、合併を含めた施策連携の方策を検討するという、方向性を示しています。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
分野別計画					
1-1 健康・医療					
23	25	現状と課題	「休日診療所の老朽化が懸念…」とありますが、老朽化により何について懸念されているのか不明確です。関係機関と何の協議とは、何を協議するのか。改修や修繕のことですか。	休日急病診療所は、北名古屋市、清須市、豊山町の2市1町で運営していますが、施設は昭和53年に建設されており、約40年の経過による、ひび割れ、雨漏り等があり、その改修等についての要望、費用などを把握し、今後の方針について協議することを指しています。	その他
24	32	白紙ページ	1ページ白紙。出す前にチェックしましたか。36、40ページ等も同様。	市ホームページに掲載したデータに空白ページを設けた理由は、データを印刷し冊子として製本した時に、「施策」のページが見開きで見やすくなるようにしたものです。	その他
1-3 子育て支援					
25	33	現状と課題	核家族化により子育ての担い手が地域社会や家族で孤立とありますが、核家族化を孤立に結び付けるのは強引では。問題は子育ての担い手が結婚や出産を機に市に転入したものの、地域コミュニティに不参加等により孤立、また地域と情報が共有できていないことでは。	子育ての担い手が、地域社会や家族から孤立する主な要因として「核家族化」を捉えて記載しておりますが、ご指摘のとおり、「核家族化」以外の要因もあるため、文言を追加させていただきます。	修正
26	34	③子育てを 支えあう地 域づくり	虐待の疑いのある場合の通報義務は法律上明記されており義務です。義務を主要施策に載せるのですか。主要施策のあり方としてポイントがずれてませんか。可能な限り通告先を広くとることが重要と思います。	ご指摘のとおり通報は義務ですが、虐待の早期発見、早期対応のためには、通報をいただくことが非常に重要であり、そのために、虐待の疑いのある場合においても「通報義務」があること、「通告先」を周知することが重要であると考えております。	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
1-4 高齢者福祉					
27	38	②総合的な 介護予防体 制の充実	市民の力を活かした高齢者の居場所づくりが何を指しているのか分かりません。市民にも分かりやすい内容にしてください。	高齢者の居場所づくりは、地域の誰もが気軽に立ち寄って、お茶や食事とともに会話を楽しんだり、趣味の活動や健康づくりのためのゲーム、スポーツなどの様々な活動の機会や場所をつくることを指しています。このような場づくりに、市民が主体的に関わっていただくことにより、高齢者の活動機会と身近な場所で地域の人々とふれあう機会の拡充を推進するものです。ご意見を踏まえ、趣旨が伝わりやすい文言に修正します。	修正
2-1 学校教育					
28	47	現状と課題	「今後も社会が激しく変化する中で、自立と協働を図るために…」誰が対象なのか分かりません。誰の自立と協働を図るか教えてください。	この一文の対象者は、「児童・生徒」となります。また、児童・生徒が、激しく変動する社会の中での自立を可能にする個々の力と、他者とのチームワーク（協働）によって課題解決や目的達成ができる力を身に付けさせる、という趣旨です。 ご指摘を踏まえ、趣旨が伝わりやすいよう文言を修正します。	修正
29	48	③学びの セーフティ ネットの充 実	語句の統一をお願いします。児童・生徒なのか、児童生徒なのか。	ご指摘のとおり、表記のぶれが散見されますので、同じ意味で使用している語句に関しては、統一します。	修正
30	49	④地域とと もにある学 校づくり	「「教育」を「共育」へと発展…」とありますが、発展ですか。転換ではありませんか。 また、共育は用語解説に記載をお願いします。	本市では、かつて学校中心に進めてきた「教育」をさらに進化させ、家庭や地域社会と共に子ども達を育てていく、という趣旨で、あえて「転換」ではなく「発展」としております。 また、「共育」を用語解説に追加します。	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の取扱
3-1 防災・消防					
31	61	現状と課題	都市構造という言葉の使い方、定義について。耐震改修、シェルター設置の補助制度を活用することにより構築できるのは、都市構造ではなく、都市ではありませんか。	耐震改修等で構築できるのは都市であるため、ご指摘のとおり「都市」という語句に修正します。	修正
32	62	①地域防災力の強化	「災害発生時の企業、大学との連携の充実」災害発生時に大学とどんな連携をするのですか。災害対応に向けた平時の協定の充実を指しているのですか。災害発生時にしか連携しないのですか。災害に備え日頃から連携できるよう関係を構築することが重要だと思います。	災害発生時の大学との連携については、市内にある名古屋芸術大学と「大規模災害時における相互協力に関する協定書」を締結しております。なお、平時から名古屋芸術大学と連携して多様な取組を行っており、ここでの記載は災害発生時の連携を、他の連携以上に充実するという意味です。	参考
33	62	①地域防災力の強化	円滑な避難は、「避難行動要支援者」だけでなく、要配慮者にも求められると思います。特に昨年の岩手県の高齢者施設では避難準備の意味が伝わらず、大雨時に逃げ遅れたことにより9名も死者がでました。これに伴い、今年度から、避難準備、高齢者避難開始と名称が変更になっています。北名古屋市では、要配慮者を円滑な避難の対象としないのですか。	災害対策基本法で名簿の作成が規定されている対象は「避難行動要支援者」ですが、避難行動要支援者には非該当であっても、特に配慮が必要な「要配慮者」についても避難を円滑に行う必要があるため、ご意見を踏まえ、「要配慮者」を追記した文言に修正します。	修正
3-2 交通安全					
34	65	現状と課題	最近全国的にも問題となっている高齢者の自動車運転事故の増加や、高齢者の運転免許返納については課題には挙がりませんか。66ページ主要施策に高齢者運転免許返納があったので、課題に詳しく載せた方が良いと思いました。	昨今、高齢者の増加に伴い高齢者の自動車運転事故は増加傾向にあり、高齢者への啓発は重要な課題と考えており、課題に挙げている「高齢者の啓発」には、高齢者の自動車運転事故を含む様々な高齢者の交通安全の啓発を含んでおります。なお、主な取組の「高齢者運転免許証返納支援」は啓発の一例として挙げております。	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
3-4 ごみ処理・資源循環					
35	70	②廃棄物の 適正処理の 推進	「廃棄物の適正処理の推 進…」推進ですか。促進で はありませんか。	主要施策②の「廃棄物の 適正処理」については、市 が主体となって進めていく ことであるため、「推進」 としております。	参考
36	70	②廃棄物の 適正処理の 推進	ごみ焼却工場の建設は 「促進」ですか。主体が名 古屋市だから北名古屋市と しては「推進」ではなく 「促進」ということですか。	ご意見の通り、「促進」 と「推進」を精査し、ごみ 焼却工場の建設は、名古屋 市とともに北名古屋市も主 体的に行っていくため、 「ごみ焼却工場の建設を名 古屋市とともに推進しま す。」に修正します。 また、事業所に対して は、「事業系一般廃棄物や 産業廃棄物の減量化、適正 処理を促すため」、前段の 「推進」という用語の使用 に倣い、「適正処理を促進 します。」に修正します。	修正
3-5 環境保全					
37	71	現状と課題	「公用車へ低公害車の導 入」少し日本語が変だと思 います。「公用車の低公害 車への導入」では。	ご意見を踏まえ、「低公 害車の公用車への導入」に 修正します。	修正

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
4-1 道路基盤					
38	75	現状と課題	<p>「必要度や緊急度などにより優先順位を決めながら整備を進めることが「必要」です。」</p> <p>「必要」レベルでしょうか。優先順位決定は「重要」レベルではないですか。</p>	<p>都市計画道路の延伸は、土地所有者の理解など、沿線住民の協力が不可欠なことから、優先順位を決めることで、限られ財源で効果的・効率的に道路整備を進めなくてはならないという意味で、「必要」としております。</p>	参考
39	76	②道路網の整備	<p>名鉄犬山線→名古屋鉄道犬山線 この他のページも省略せずに記載してください。</p>	<p>ご意見のとおり、「名古屋鉄道犬山線」に修正します。</p>	修正
4-3 公園・緑地・緑化・景観					
40	83	現状と課題	<p>良好なまち並みと景観の形成のために求められているのはモニュメントなのでしょうか。市民一人当たりの緑が少ない市にとって、街路樹も景観形成に必要な資源ではありませんか。モニュメントとしたのは維持管理が容易だからでしょうか。</p>	<p>生活にうるおいと安らぎを与え、まちの良好な環境や景観を形成するために、街路樹や公共空間への植栽を進めるとともに彫刻等モニュメントの保全をすることとしております。街路樹については、「主要施策②公共空間・市街地の緑化の推進」において、今後も歩道整備に合わせた植栽を進めていくことを挙げております。</p>	参考
41	83	現状と課題	<p>都市公園について、何を根拠として、量的課題よりも質的課題が重視されてきているとしているのでしょうか。緑が少ないことに対する問題のすり替えではないですか。絶対的に緑が少ないことが問題であって、量的問題とともに質的問題についても重要度が増しているのが現状ではないでしょうか。今ある公園の適正な維持管理をすれば課題が解決する訳ではありません。担当はこの点逃げないでほしいです。</p>	<p>本市の都市公園の一人あたりの面積が他都市と比較すると少ないという「量」の観点とあわせて、市民ニーズの多様化・高度化により公園の「質」についても新たな観点として関心が高まっております。公園の量的課題は当然として、あわせて質的課題も必要とされていると認識しており、「主要施策①魅力ある公園や緑地の整備」において、公園の量的整備と質的整備を掲げております。</p>	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
42	84	③やすらぎ ある景観の 形成	大学との連携によるモニュメントを市が進めたいのは分かりますが、街路樹については必要ないのですか。以前、緑の基本計画では街路樹について積極的に整備するとされていました。総合計画では街路樹による緑の創出はいらないと判断されたのですね。	街路樹や公共空間への植栽を進めることで、良好なまち並みとやすらぎある景観の形成に寄与するものと考えております。街路樹については、「主要施策②公共空間・市街地の緑化の推進」において、今後も歩道整備に合わせた植栽を進めていくことを挙げております。	参考
4-4 河川・雨水処理					
43	87	現状と課題	排水機と樋門の整備が不十分であれば、「維持管理」ではなく、「維持修繕」が必要だと思います。	ご指摘を踏まえ、修正します。	修正
44	88	①治水対策 の推進	薬師寺、「山浦、草木地区」の雨水排水対策を総合計画に表していただきたい。 総合計画（案）では、新川流域と市の下流対策が主体となっておりますが、近年では、記録的な短時間大雨警報が所構わずの常態化された気象現象です。その上、都市化現象も加わり、時間あたり40ミリ以上の降雨では、薬師寺草木、山浦地区の五条川への雨水排水は、五条川の水位上昇で不能となり、一帯は河川のような洪水となって十五ヶ用水に流れ込みますが、十五ヶ用水もその時既に満杯ですから、そのまま鹿田神明附地区に溢れ、周辺住宅では直撃した雨水で常に床下浸水に侵され、浄化槽冠水、通学路の冠水となります。	雨水対策の重要性については十分認識し、「4-4 河川・雨水処理」において、主要施策に「①治水対策の推進」を掲げております。 本市は、四方を河川に囲まれた平坦な低地であり、浸水被害の危険性が高く、過去に幾度も被害を受けています。抜本的な治水対策を進めるには、市内を流れる河川の改修が必要です。このため、河川管理者である愛知県と連携し、河川改修を進めていきます。	参考

第2次北名古屋市総合計画 案に関する市民意見及び市の考え方

No.	ページ 番号	該当箇所等	意見	市の考え方	意見の 取扱
4-5 公共交通					
45	90	主要施策 市街への交通アクセス	<p>主な取組に、「名古屋市営バスの延伸」とありますが、延伸を決めるのは北名古屋市ではなく名古屋市です。ここはバスの延伸ではなく、延伸の協議（検討）が適切ではないですか。</p>	<p>広域的公共バス路線運行の主な取組として、「名古屋市営バスの延伸」や「近隣市町のバス交通との広域連携」を挙げており、今後、実現に向けた可能性を検討する中で、調査や協議を進めていくこととしております。</p>	参考
6-5 多様な連携					
46	111	現状と課題	<p>市民の多様化する行政サービス需要を整理し効率的に対応するため、名古屋市との合併が必要なのですか。市民が合併を求めたのでしょうか。昨年9月の市議会定例会での市長答弁では、合併の目的はスケールメリットであり、広域的観点に立った施策の展開や効果的な行政サービスの提供、基盤整備、財政基盤の強化など、小さな自治体ではなし得ないまちづくりが可能なため合併について発言したはずですが。合併の結果、名古屋市とともに多様化する住民サービスを解決していくのでは。市長発言にもあるように合併の目的はスケールメリットです。</p>	<p>防災、医療、福祉、道路、河川など広域による取組により効果が期待される行政課題について、その対応として、広域行政の充実や周辺市町との連携手法の検討、名古屋市等との合併の検討が必要と考えております。</p> <p>なお、ご意見を踏まえ、文言を修正します。</p>	修正